

第1回技術者倫理セミナー報告【愛媛】

H30. 6. 2

平成30年6月2日（土）に松山市男女共同参画推進センター「コムズ」5階大会議室において、平成30年度CPDセミナー・公開講座と合同開催で、第1回技術者倫理セミナーを行った。

参加人数は、70名（会員34名、非会員27名、合格者・学生・一般9名）であった。

講義：「技術士と技術者倫理」

講演者：倫理小委員会委員長 友近 榮治 氏

友近氏から、2015年～2018年に起きた「最近の企業不祥事」のうち、各年1例について「不祥事の原因」と「再発防止策」を挙げ、これらの共通問題点として、下記の3点が示された。

- ・組織の管理体制
- ・倫理観の欠如
- ・企業あるいは組織の風土

組織の風土と関連が深い「集団思考」の「八つの兆候」について解説があり、組織に属せば必ず価値観が偏ること、企業においては従業員としての「責務」と技術者としての「公衆優先」が利害相反になる場合もあるとの説明があった。

次に、「倫理・モラル・法」について説明があり、「技術者倫理」は、技術者のモラルに基づく判断を「規範の形」にしたもので、技術者にとって「中核となる資質と能力」であると定義された。

また、「技術者倫理の特徴」として、下記の3点を挙げ、それぞれについての説明があった。

- ・公衆との対人関係（モノを介する間接関係）
- ・グローバルな共通性
- ・モラル向上の合理的な方法を備える

そして、「相互依存性」原理から、技術者がなぜ特別な責任を負わなければならないのかについて説明があった。

これらから、技術者には、「自分の目で見て、自分の頭で考え、判断・行動する」能力が求められていることが示された。

最後に、「技術士法と技術士倫理綱領の変遷」を

示して「倫理問題は常に時間軸を含み、動的である」ことの説明があった。それに続いて、最新の「技術者倫理綱領」のうち、下記の原則についてそれぞれ解説があった。

- ・公衆優先原則
- ・誠実性原則
- ・専門性原則



友近倫理小委員会委員長の講義

〈アンケート結果〉

本セミナーのアンケート結果は、次頁の集計結果のとおりである。アンケートは61名の提出があり、回収率は100%であり、参加者の主たる活動県は徳島県・香川県が各2%、愛媛県が84%、高知県が7%、その他が3%であった。技術部門は複数回答で建設部門が64%、年齢構成は30代5%、40代34%、50代が31%であった。

また、セミナーの感想は、「非常に良かった」が12%、「良かった」が61%であった。

今回の技術者倫理セミナーは、倫理小委員会としては初めてのものであったが、全般的に熱心に聴講して頂き、アンケートにおいても多くの感想が寄せられた。

今回のセミナーは参加人数も多く、持ち時間も1時間と短かったため、講義だけであったが、「講義とディスカッションの併用」を望まれる方も28%おられ、今後の検討としたい。

—以上—

H30.6.2 第1回技術者倫理セミナーアンケート集計（愛媛県開催）

アンケート回収＝ 61 名

Q1: 主たる活動県

	人数	(%)
①徳島県	2	3.0
②香川県	2	3.0
③愛媛県	56	83.6
④高知県	5	7.5
⑤その他	2	3.0
(複数回答)合計	67	

Q2: 技術部門

	人数	(%)
①機械	0	0.0
②電気電子	0	0.0
③建設	43	64.2
④応用理学	13	19.4
⑤農業	5	7.5
⑥環境	0	0.0
⑦その他	6	9.0
(複数回答)合計	67	

Q3: 年齢

	人数	(%)
①20代	1	1.6
②30代	3	4.9
③40代	21	34.4
④50代	19	31.1
⑤60代	13	21.3
⑥70才以上	4	6.6
合計	61	

Q4: 技術者倫理セミナーの参加回数

	人数	(%)
①2回以上ある	10	16.4
②1回だけある	10	16.4
③ない	41	67.2
合計	61	

Q5: 技術士倫理綱領をご存知ですか

	人数	(%)
①読んだことがある	47	77.0
②名前は知っているが、読んだことはない	12	19.7
③知らない	2	3.3
合計	61	

Q6: 技術者倫理セミナーを知った方法

	人数	(%)
①技術士会メール	41	67.2
②技術士会HP・会報誌	9	14.8
③案内のチラシ	5	8.2
④知人の誘い	4	6.6
⑤その他	2	3.3
合計	61	

Q7: 倫理セミナー参加感想

	人数	(%)
①非常に良かった	7	11.5
②良かった	37	60.7
③ふつう	17	27.9
④あまり良くなかった	0	0.0
⑤非常に良くなかった	0	0.0
合計	61	

Q8: 倫理セミナーの方式

	人数	(%)
①講義形式	28	45.9
②ディスカッション形式	3	4.9
③講義とディスカッションの併用	17	27.9
④ケース・メソッド講義とディスカッションの併用	13	21.3
合計	61	

質問 7. 感想の理由

- ・技術者倫理に関して、知識としては理解しているつもりであるが、具体的に考える機会にはなかった。
- ・今日の企業不祥事の話を見ると、個人として取り組む必要性を感じた。(試験対策としてしか見ていなかった)
- ・技術者倫理の基本的構成がよくわかった。
- ・日頃、技術者倫理を具体的な例を挙げて解説される機会がないので良かったです。
- ・知っていることが多かった。
- ・最近の倫理に関する事例を踏まえ、深く考えさせる内容でした。時間的にタイトになったのが残念でした。
- ・技術者倫理については、継続的に再確認することや、更新される社会の状況を把握することが必要と思うから。
- ・問題点が明確になった。再確認できた。リスクマネジメントとリンクする。
- ・初めて聞く人は少し難解だったかも知れない。
- ・具体的事例により、よく理解できた。
- ・時間が削られたので話が十分聞けなかった。あまりにも難しい。(内容的に理解するのが)
- ・内容が論理的であった。
- ・意識(モラル)から生まれる倫理の定義イメージが理解できた。自己判断の重要性に共感した。
- ・倫理ある行動をとらなければならないと再認識をした。
- ・少しディスカッションをする方が良いと思う。事例を挙げての説明は良かったと思う。
- ・倫理の定義について学べた。
- ・公演の時間が少ない。2時間ぐらいは欲しい。
- ・技術者倫理は難しい話であったが、分かりやすく説明をして頂いて、少しは理解したかなと思います。
- ・具体的な事例を交えて頂いたの。
- ・技術者倫理を再認識する事ができた。
- ・倫理の大切さを理解できた。
- ・時間が不足気味。
- ・内容について再度、認識・考えることができた。
- ・技術者倫理について、最近の事例も挙げられた講義で分かりやすかった。
- ・自然科学や工学的な講義に比べ、倫理を学ぶ機会は少ないので、良い機会となりました。
- ・最近の事件などを再度思い出し、人の倫理・モラルの大切さを考えさせられました。
- ・基本的な内容で、事例も多く分かりやすかった。ただし、基礎知識がないと分かりにくいかもしれません。
- ・普段、考える機会が少ないため、有用な内容でした。
- ・リスクマネジメントに通じる技術者倫理について、再度確認出来て良かった。
- ・事例を交えて分かりやすかった。
- ・口頭試問対策となる。自己啓発になる。
- ・実際に発生した不祥事の原因と再発防止策も交えたセミナーであったため、分かりやすいセミナーであった。
- ・再確認できた。
- ・改めて勉強できた。
- ・企業の不祥事が相次ぐ中で、技術者倫理について学ぶ良い機会であった。